

一般質問

高島市民クラブ



大塚 泰雄 議員

「財政・病院・人事」 ごたごたのなかで

①まず財政再建を優先せねばならないのに、合併特例債による目的や内容が不透明な「環の地域振興基金」を設け、対前年6・2%増の予算編成をした意図は何か？
起債残高が18年度末見込みで758億円、市民1人当たりの借金は、135万4千820円と増えている。緊縮財政を徹底すれば予算総額を減らすべきなのになぜ増額するのか？借金をしてまで貯金し、予算規模を膨らませなければならぬのか？これでは市民が行政サービスの低下や応分の負担を納得できるはずがない。

②高島病院問題をどうするのか？市長の考えが市民に発信されていない。病院関係者や市民の間に不安と失望感が溢れており、安心、安全の医療環境の充実どころか、崩壊の危機である。病院に対する市民の期待と願いをどう捉え、どう応えるのか？今こそ強力なリーダーシップを発揮して、市長の政策と決断を示すべきである。

③部長を含む有能職員の大規模退職の理由や事情について、市民から不審の声や疑問が寄せられており、職員にも不安が広がっている。職員数削減



も早期退職勧奨も必要だが、これとは異質で別次元の問題であり、有能な職員の慰留や活用に努めることも重要な方策である。今後予定している機構組織の改変や計画を明示し、反対意見にも耳を傾け、安心と安定が感じられる市政運営に徹すべきである。

答 市長
合併特例債による基金造成ですが、たかしま21の代表質問で答弁をさせていただいておりますので一定ご理解を賜りたいと思います。また、金利の上昇傾向を感じていること、差し引きでも20億円を超える政府からの援助があり、先に造成する方が市民の安心を得られると感じたためであります。基金の具体的な



水田 善昭 議員

除雪は万全であつたか。

問 雪国に住む者にとって雪害は避けて通れない問題である。昨年末から今年にかけての除雪に対して市の対応はどうであつたのか。市民から聞こえてくるのは不満の声であつた。旧町村時には完璧であつた除雪が合併して迎えた今冬「サービスは高く、負担は低く」の合言葉とは正反対であつた。パスの運行は滞り、保育所の送迎バスもストップし子どもを預けることができなかった事例もあつた。近年まれに見る豪雪であり、除雪作業に手間取つたのは理解できるが、旧町村時代にはできていた除雪が合併してできなくなる訳がない。市民の生命財産を守り、生活の安全を確かめるための危機管理について問う。

答 土木交通部長
市内の除雪は昨年十二月七日より始まりまして、連日に亘る降雪があり一部路線では除雪が追いつかず、結果的に市民の皆様にご迷惑をおかけする事になりました。大変申し訳なく思っています。十二月に降つた雪は、例年になく大変重い雪であつたことや、連日におよぶ除雪作業から、作業が順調に進まなかつたこと、またオペレーターが交代して一部路線を見落としたことも事実であります。合併年度の除雪について、内容の点検を行いました。反省点をチェックしてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

その他の質問
◆公募制による人事異動について



澤本 長俊 議員

今後の支所の位置づけ。考え方は！

問 ①県下一広い高島市にあって、支所が果たすべく機能とは、どのようなことか問う。
②中央集中型の行政体制を進めていくのか問う。
③そういった市の体制づくりは、市民の皆さんの安心ということを第一に考え、有事の際や、緊急事態のとき、敏速かつ的確に機能することを、一番最優先に考えて行うのが行政であると考えますが市当局の考えを問う。
④市の公共工事の入札は、現在、最低価格公表方式をとっているが、これは業者の積算能力、技術力等にまったく関係なく

答 総務部長
最も身近な行政サービスセンターとしての支所機能の維持確保に努めます
本市における支所は、面積の広大性等もあって地域住民にとっては、最も身近な行政サービスセンターの役割りと機能を有するのが当然と考えます。
今回の支所体制等の見直しは、財政上等の人員削減要請の中とはいえ、より一層の職員的能力開発や連携協同等を図ることとしており、勿論のこと有事や緊急時等の即時対応が



支所の窓口風景

緊要と存じています。なお、現下の当市の入札制度に関し、公正で自由な価格競争の確保、即ち不正行為防止等の観点から適用している最低制限価格の公表等について、種々議論があることから、今後はこれらの適確運用等をはじめ、補完等に必要調査研究を検討したいと考えます。

その他の質問
◆幼保一元化の現実と課題 今後の考え方は。

